

iKO Project

魅力ある学校づくり ~iKO プロジェクト~

計画と達成基準

中間達成状況（11月末現在）

最終達成状況

1

生徒一人ひとりの進路実現

学ぶ力の育成と学力の向上
AL型授業を取り入れた思考力・表現力を育成する授業実践
学びの支援体制づくり(環境整備・教育相談・面接・懇談等の充実)

教務課

生徒課

総合評価

進路課

厚生課

B

2

地域と連携したグローバル人材の育成

統一した指導による規律ある生活態度の育成
地域に学ぶ「総合的な学習の時間」の充実・発展によるキャリア教育の推進
英語力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力の向上

教務課

地域連携

総合評価

生徒課

園芸科

B

進路課

英語科

3

生徒会・農業クラブ・家庭クラブ活動の活性化

部活動及び生徒会委員会活動の充実
生徒による自主的運営と指導体制の充実
ホームページの充実等による積極的な情報発信

教務課

園芸科

総合評価

生徒課

家政科

A

広報担当

1 生徒一人ひとりの進路実現

学ぶ力の育成と学力の向上

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(11月末現在)	中間評価	
教務課	普通科 ○生徒が主体的に学習に取り組むことを主眼とした授業改善を全教員で行い、公開授業を一人1回は実施する。	普通科 ○ 授業評価アンケート 「学習内容に興味をもち、意欲的に授業に取り組むようになりましたか。」 全教科評価指数平均9以上 (H27 「授業を受けて、授業内容について興味をもつようになりましたか。」 指数平均 8.8)	▶	普通科 ○ 授業評価アンケート 「学習内容に興味をもち、意欲的に授業に取り組むようになりましたか。」 (第1回アンケート指数平均 8.7) 公開授業実施教員 15人(25人中)(60%) 学力向上プロジェクトチームを組織し、対策を検討	B

進路課	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(11月末現在)	中間評価	
進路課	普通科 ①学習習慣(生活習慣)の定着を図るために、学習実態調査や学習記録表(GW、長期休業中)などを活用する。 ・進路目標の設定とその実現のための計画立案 ・4点固定の徹底 (起床、帰宅、学習開始、就寝の時刻の固定) ・生活改善の必要な生徒への指導 ②基礎学力を定着させるために、授業を基本として、土曜活用、補習、休日学習会等を活用する。 ・個々の生徒の習熟に応じた課題の与え方 ・上位層から下位層に対応した授業展開の工夫 ・添削等の個別指導 など	普通科 ①1日の 学習時間2時間未満の生徒数を 1年20名以下 (H27 26名→27名→18名) 2年20名以下 (H27 22名→26名→16名) 学年プラス2時間の学習時間達成率を 3年生は40%以上 (H27 第2回36%) 2年生は25%以上 (H27 第3回18%) 1年生は40%以上 (H27 第3回39%)にする。 自己評価アンケート 「学習実態調査や土曜活用、学習会を通して学習習慣が身に付いている。」 生徒評価指数 10以上 ②国公立大学志望者の 合格率 55%以上(在籍数の 30%) を目標とする。(最近5年間の平均は、合格率 54.6%、在籍数の 30.2%) 1年生では、国公立大学に進学できる学力を持つ生徒(進研模試における全国偏差値 54以上)およびそれに続く層(全国偏差値 50以上)を増やす。 2年生は1年1月時の維持 を目標とする。 (H27 1年 54以上 7月 29名→1月 46名 50以上 7月 56名→1月 68名) 3年生は11月マークで全国偏差値 48以上を 30名以上 にする。(H27 16名) (2年 54以上 1年1月 27名→1月 18名 50以上 1年1月 47名→1月 32名)	▶	普通科 ①第2回学習実態調査結果 学習時間2時間未満の生徒数 1年:23名 2年:17名 学年プラス2時間の学習時間達成率(2回の結果) 3年:30% 2年:16% 1年:32% 自己評価アンケート 「学習実態調査や土曜活用、学習会を通して学習習慣が身に付いている。」 生徒評価指数 7.8 (H27:同時期 8.0) ②7月進研模試結果(3年は6月マーク) 1年:54以上17名、50以上43名 2年:54以上48名、50以上75名 3年:48以上37名、50以上32名 1年は現3年の同時期と比べ、54以上は同じだが50以上は10名ほど多い。2年は1年1月から少し増加。3年は50以上32名が11月マークで48をキープ出来るかどうか?	B

教務課 進路課	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(11月末現在)	中間評価																						
教務課 進路課	専門科 ①漢字テスト、計算力テストの年間平均点を各クラスで掲げ、お互い励ましながら目標を達成する。 ②学期毎に最優秀者を発表する。 ③個人に優秀者シール台紙を配布し、漢字100点、計算力90点以上に優秀者シールを貼らせ、意識の向上を図る。 ④第2・4・5考査期間中に生活実態調査を実施し、考査に向けての学習意欲を高める。	専門科 ①②昨年度の平均点を上回る平均を目標とする。 ③ごほうびシール獲得者数(のべ) 漢字:クラス人数の60% 計算力:クラス人数の70% ④3回の平均学習時間 園芸科:2.0時間以上 70% (昨年 1.5以上 72.7%) 家政科:2.5時間以上 70% (昨年 2.0以上 78.8%)	▶	専門科 1学期末までの平均点は次の通り。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th><漢字> 6回実施</th> <th><計算力> 5回実施</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>E1</td> <td>89.8</td> <td>85.4</td> </tr> <tr> <td>E2</td> <td>93.1</td> <td>88.1</td> </tr> <tr> <td>E3</td> <td>84.5</td> <td>84.2</td> </tr> <tr> <td>K1</td> <td>96.1</td> <td>95.1</td> </tr> <tr> <td>K2</td> <td>98.5</td> <td>93.6</td> </tr> <tr> <td>K3</td> <td>95.2</td> <td>94.4</td> </tr> </tbody> </table> ③ごほうびシール獲得者数(のべ) 漢字:クラス人数の68.5% 計算力:クラス人数の77.9% ④1回の平均学習時間 園芸科:2.0時間以上 69% 家政科:2.5時間以上 82%		<漢字> 6回実施	<計算力> 5回実施	E1	89.8	85.4	E2	93.1	88.1	E3	84.5	84.2	K1	96.1	95.1	K2	98.5	93.6	K3	95.2	94.4	B
		<漢字> 6回実施		<計算力> 5回実施																						
E1	89.8	85.4																								
E2	93.1	88.1																								
E3	84.5	84.2																								
K1	96.1	95.1																								
K2	98.5	93.6																								
K3	95.2	94.4																								

学校自己評価・・・生徒、保護者、教職員を対象に行ったアンケート調査。平成28年12月9日までに実施。
 回収率 生徒 98.2% (541人/551人、H27 99.5%)、保護者 88.7% (489人/551人、H27 92.0%)、教職員 100% (62人/62人、H27 100%)
 評価指数の計算方法 (よくあてはまる割合)×2+(ややあてはまる割合)×1+(あまりあてはまらない割合)×(-1)+(まったくあてはまらない割合)×(-2)
 ⇒ (最高) **20.0**, (最低) **-20.0**

最終達成状況

担当(分掌)

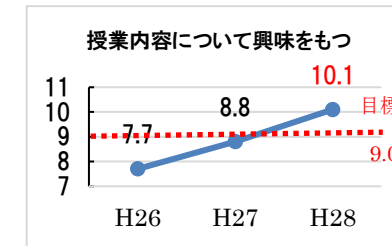
教務課

普通科

○ 授業評価アンケート

「学習内容に興味をもち、意欲的に授業に取り組むようになりましたか。」(第2回アンケート **指数平均 10.1**)

公開授業実施教員 16



最終評価

B

進路課

普通科

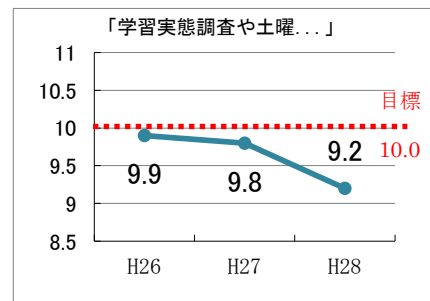
① 第3回学習実態調査結果

- ・1日の学習時間2時間未満の生徒数
 - 1年: 21名 (H27: 18名),
 - 2年: 6名 (H27: 16名)
- ・学年プラス2時間の学習時間達成率
 - 2年: 23% (H27: 18%),
 - 1年: 34% (H27: 39%)

自己評価アンケート

「学習実態調査や土曜活用、学習会を通して学習習慣が身に付いている。」

生徒評価指数 9.2
1年生が5.4から
9.1に上昇。

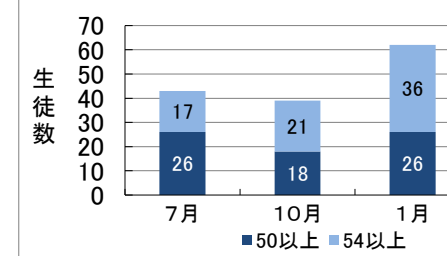


② 1月進研模試結果(3年は11月マーク)

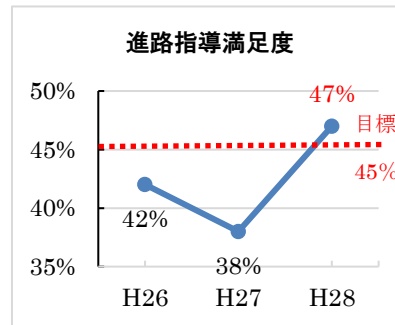
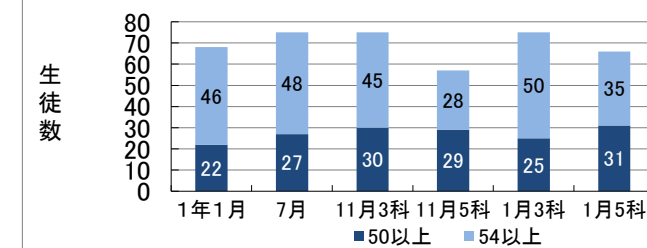
1年: **54以上36名、50以上62名,**
 2年: **54以上50名、50以上75名(3科),**
54以上35名、50以上66名(5科)

1年は現3年の同時期と比べ、54以上は9名多く、50以上も14名ほど多く前回と比べてもよく伸びている。
 2年は1年1月とほぼ同じ。SS60以上は増加。
 3年はSS46以上が30名。SS48は24名。
 3教科では達成できている。

平成28年度 進研模試偏差値(1年生)



平成28年度 進研模試偏差値(2年生)



○ 卒業生アンケート

「満足しているところはどんなところですか」
進路指導 47%

A

教務課
進路課

専門科

①② 2学期末までの平均点は表の通り。

(目標達成のところは青字)

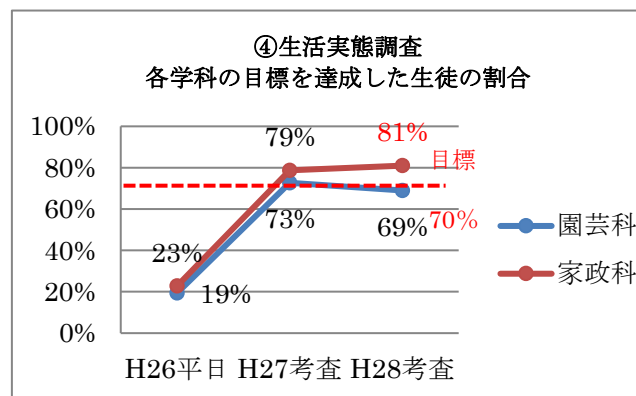
③ ごほうびシール獲得者数(のべ)

漢字: **クラス人数の61.8%**
 計算力: **クラス人数の71.8%**

④ 第1・2回の平均学習時間

園芸科: 2.0時間以上 **69%**
 家政科: 2.5時間以上 **81%**

	<漢字>	<計算力>
	13回実施	12回実施
E 1	85.0	79.1
E 2	89.5	80.2
E 3	82.9	81.0
K 1	96.1	92.5
K 2	96.5	90.5
K 3	93.6	91.0



B

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(11月末現在)	中間評価
生徒課	○家庭での学習時間確保を考えて生徒代表者と話し合いの場を設け、生徒の携帯電話・スマートフォンの使用時間について実態把握(アンケート)を実施し、話し合わせて使用時間の設定をさせ、守らせるように <u>生徒総会・全校集会・学年集会などで生徒から呼び掛けさせる。</u>	○ 生徒課アンケート 「スマートフォン等を[平日3時間以上利用する]」 生徒の割合が25%以下	○現在南北生徒会で、問題点やどのような内容で進めていくか、話し合い中。10月5日に集合し最終確認をし、アンケート実施に向け活動する。	B

AL型授業を取り入れた思考力・表現力を育成する授業実践

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(11月末現在)	中間評価	
教務課	普通科 ①授業改善教員研修会の実施 ②AL型授業実践校内研究会の立ち上げと校内研究授業の実施	普通科 ①授業改善教員研修会を 実施した。 ②・教育課程委員会と連動した研究会を組織し、各教科が取り組むAL型授業の検討と 実施ができた。 ・校内研究授業を 5回以上実施した。 ・ 授業評価アンケート 「考えたり、話し合う時間があるなど、生徒が活動する機会のある授業が多い」 評価指数 8.5 以上	▶	普通科 ①授業改善教員 研修会を11月28日(月)に実施予定。 ②・ AL研究会を組織し、委員会を4回実施 各教科でOJTチームを作り、研修会を実施 ・ 第1回 授業評価アンケート 「考えたり、話し合う時間があるなど、生徒が活動する機会のある授業が多い」 評価指数 9.9	B
教務課	専門科 ①グループワークや思考ツールを利用した授業を年1回以上実施する。 ② 各教室に「めあて」「まとめ」カードを設置し、授業で活用する。 ③生徒用教材(思考ツールの利用方法)を作成し、授業で実践する。	専門科 ①思考ツールを利用した授業を年 1回以上実施する。 12人(19人中)以上(60%以上)(H27:7人/18人) ②③ 自己評価アンケート 「考えたり、話し合う時間があるなど、生徒が活動する機会のある授業が多い」 評価指数 7.0 以上	▶	専門科 ①思考ツールを利用した授業を1回以上実施した。 12人(19人中)(63%) ② 「めあて」「まとめ」カードを各教室に設置した。 授業で利用している→13人(19人中) 専門科でOJTチームを作り、研修を実施、公開授業は全員実施 ②③ 自己評価アンケート 「考えたり、話し合う時間があるなど、生徒が活動する機会のある授業が多い」 評価指数 3.8(園芸科 1.3 家政科 6.1)	B

学びの支援体制づくり(環境整備・教育相談・面接・懇談等の充実)

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(11月末現在)	中間評価	
厚生課	①厚生委員会の活動を通じて、生徒が主体的に清掃活動に取り組み、整備された学習環境を維持できるようにする。 ②特別支援教育委員会をケース会議として校内体制に位置づける。 ③県内の相談機関との連携を進める。	①・ 自己評価アンケート 「清掃活動に主体的に取り組んでいる」 生徒評価指数南校地で1.0以上 (H27:全体 10.7, 専門 8.8) ・ 自己評価アンケート 「校内は清掃が行き届いており、きれいな状態である」 生徒評価指数 8.0 以上 (H27:7.7) ②・必要に応じて委員会を開催し、 具体的な対応策を決定することができた。 ・特別支援教育の視点を含めた健康観察を行い、 生徒の看取りに役立てることができた。 ③県内の相談機関を訪問し、それぞれの特色等を一覧表にまとめて 情報提供することができた。	▶	自己評価アンケート 「清掃活動に主体的に取り組んでいる」 生徒評価指数南校地で 7.4 ・ 自己評価アンケート 「校内は清掃が行き届いており、きれいな状態である」 生徒評価指数 6.4 ・年度末に向けて、両校地で足並みをそろえつつ点検・啓発活動の充実を図る。 ②・ 委員会を開催し(1回)、具体的な対応策を検討した。 委員会で取り上げる事項、メンバーの構成、効果的な事後の対応への接続等について、今後さらに具体を検討する。 ③ 県内の相談機関(生徒指導推進室, SSW, 児童相談所, 子育て支援課, 中学校, 警察)とは一部連携。 年度末に向けて情報提供できる条件を整備する。	B

学校自己評価・・・生徒、保護者、教職員を対象に行ったアンケート調査。平成28年12月9日までに実施。

回収率 生徒 98.2% (541人/551人、H27 99.5%)、保護者 88.7% (489人/551人、H27 92.0%)、教職員 100% (62人/62人、H27 100%)

評価指数の計算方法 (よくあてはまる割合)×2+(ややあてはまる割合)×1+(あまりあてはまらない割合)×(-1)+(まったくあてはまらない割合)×(-2)

⇒ (最高) 20.0, (最低) -20.0

最終達成状況

担当(分掌)

生徒課

最終達成状況

最終評価

- ▶ ○アンケート実施が11月に南北両校地とも実施できた。これをもとに生徒会執行部と、先生方で話し合いを持ち時間について**約束事を決め**、3学期から年度末までの間を試験期間として実施することを**生徒会長が全校生徒の前で発表**した。来年度は時間だけでなく、話し合いの中でいくつかの約束事も決め実施したい。

B

生徒課アンケート

「スマートフォン等を[平日3時間以上利用する]」 生徒の割合 22.3% (北校地 8% 南校地 45%)

担当(分掌)

教務課

最終達成状況

最終評価

普通科

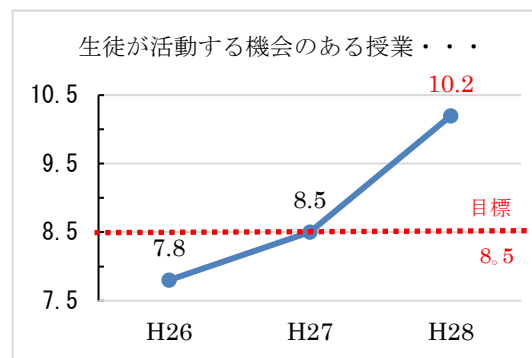
①AL校内研修会を実施(11/28)

②・AL研究会を組織(7月)第1回委員会9/8

・校内研究授業10/6,11/2,11/21の3回実施

第2回 授業評価アンケート

「考えたり、話し合う時間があるなど、生徒が活動する機会のある授業が多い」 評価指数 10.2



A

教務課

専門科

①思考ツールを利用した授業を1回以上実施した。

▶ 15人(18人中)(83%)

②③ 自己評価アンケート

「考えたり、話し合う時間があるなど、生徒が活動する機会のある授業が多い」 評価指数 7.1(園芸科 3.3 家政科 10.4)

・授業で「めあて」「まとめ」カードを利用して、板書をしている。→17人(18人中)

A

担当(分掌)

厚生課

最終達成状況

最終評価

① 自己評価アンケート

「清掃活動に主体的に取り組んでいる」 生徒評価指数(専門科) 9.5 (北校地 11.1で、校地間の差異は縮小。)

自己評価アンケート

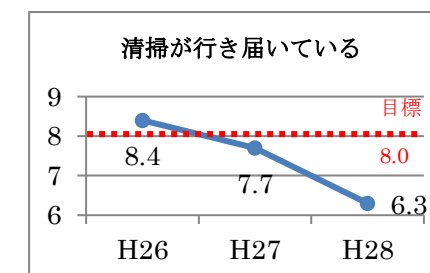
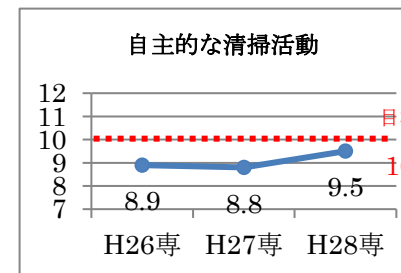
▶ 「校内は清掃が行き届いており、きれいな状態である」 生徒評価指数 6.3

・啓発活動(清掃ポスターの作成、校内の清掃重点箇所の点検)を、厚生委員を中心に実施。

②教育相談係会(ケース会議を含む)、特別支援教育委員会を実施

③県内の相談機関(生徒指導推進室、SSW、児童相談所、子育て支援課、中学校、警察)とは一部連携。

問題発生後の外部団体との連携は密にとれたが、事前の積極的な情報提供までには至っていない。



B

2 地域と連携したグローバル人材の育成

統一した指導による規律ある生活態度の育成

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(11月末現在)	中間評価
生徒課	①統一した、服装指導を徹底する。日常・集会などでしっかりと声掛けをし、守れてない生徒に対しては個人指導をする。 ②学校内外で気持ちの良い挨拶ができるよう、 毎月10日を中心に挨拶運動を実施 する。 ③遅刻数を減少させるため、遅刻の多い生徒は個人指導をする。また、欠席との相関関係も調べる。	① 自己評価アンケート 「服装を校則通りに着用している」 生徒評価指数 16 以上 ② 自己評価アンケート 「自分から、挨拶するよう心がけている」 生徒評価指数 12 以上 ③ 自己評価アンケート 「始業時間や下校時間を守ることができている」 生徒評価指数 16 以上 ・遅刻数：両校地統一した基準で 450 回以内 (H27：560 回)	①南北が集まる時は必ず服装などに関して注意をしている。 ② 挨拶については定着 してきた。 ③遅刻は、本年度については 激減している 。ただ、学校に足が向かない生徒中心に非常に多い。今後の課題でもある。また、 欠席との関係も調査 している。	B

地域に学ぶ「総合的な学習の時間」の充実・発展によるキャリア教育の推進

当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(11月末現在)	中間評価
進路課	普通科 ○ 企業説明会(1年)、企業訪問(2年)の実施。事前・事後の指導の充実を図り、進路選択に役立たせる。	普通科 ○ 事後アンケート 「クラスでの報告会で発表をしたり、友人の発表を聞いたりすることで進路についての考えをより深めることができた。」 肯定的意見 90%以上 (H27：94.1%)	普通科 ○企業訪問を 11月に実施。企業説明会を1月に実施予定。参加予定企業が増加。	B
地域連携	○井原市や、井原町の 地域イベントに井原高校として参加 するよう生徒に紹介する。	○ 自己評価アンケート 「学校のある地域や、住んでいる地域の行事に参加している」「している」割合 60%以上	○ 自己評価アンケート 「学校のある地域や、住んでいる地域の行事に参加している」「している」 47.8% ▶ 井原夏祭りに生徒の参加者が59名と昨年より増えた。 井原町盆踊りにも3名の生徒が参加した。	B

学校自己評価・・・生徒、保護者、教職員を対象に行ったアンケート調査。平成28年12月9日までに実施。

回収率 生徒 98.2% (541人/551人、H27 99.5%)、保護者 88.7% (489人/551人、H27 92.0%)、教職員 100% (62人/62人、H27 100%)

評価指数の計算方法 (よくあてはまる割合)×2+(ややあてはまる割合)×1+(あまりあてはまらない割合)×(-1)+(まったくあてはまらない割合)×(-2)
⇒ (最高) 20.0, (最低) -20.0

最終達成状況

担当(分掌)

生徒課

最終達成状況

最終評価

① 自己評価アンケート

「制服を校則通りに着用している」**生徒評価指数 16.5**

南北統一した服装指導については、連絡を密にし、集会においては南北生徒課の先生方で声掛けをした結果、南北隔たりなく指導できるようになった。

② 自己評価アンケート

▶ 「自分から、挨拶をするよう心がけている」**評価指数は 10.3**

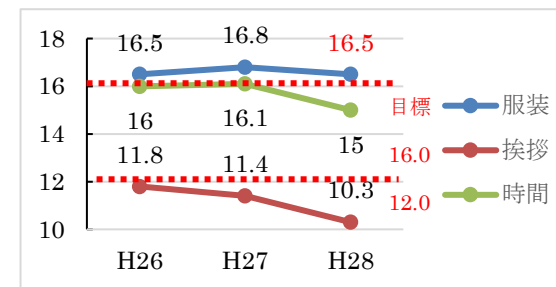
自らすすんで挨拶ができる生徒が大半である。



③ 自己評価アンケート

「始業時間や下校時間を守ることができている」**評価指数 15.0**

遅刻については、**合計339件**と非常に少なかった。



B

担当(分掌)

進路課

最終達成状況

最終評価

普通科

○ 事後アンケート

「クラスでの報告会で発表をしたり、友人の発表を聞いたりすることで進路についての考えをより深めることができた。」



▶ 「よくあてはまる」「ややあてはまる」**1年生 94.9%、2年生 92.1%**

B

地域連携

○ 自己評価アンケート



▶ 「学校のある地域や、住んでいる地域の行事に参加している」**「している」49.0%**(今年度の県目標50%)

▶ **井原夏祭りに生徒の参加者が59名と昨年より増えた。井原町盆踊りにも3名の生徒が参加した。**



B

英語力・コミュニケーション力・プレゼンテーション力の向上

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(11月末現在)	中間評価
英語科	<p>普通科</p> <p>英語力の向上を図る</p> <p>①1年次終了までに英検準2級、2年次終了までに英検2級の合格を目指した指導を行う。</p> <p>②英語でコミュニケーション活動を行う前段階の指導に力を入れる。</p> <p>③英語でコミュニケーションを図る姿勢を培う授業研究を行う。</p> <p>④地域の英語スピーチコンテストや国際交流行事への積極的な参加を呼びかける。</p> <p>⑤地域からの指導者を招聘し、英語コミュニケーション力の向上を図り、各種コンテストに参加する。</p>	<p>普通科</p> <p>①1年次終了時点 準2級合格者30名以上(H27:27名)</p> <p>2年次終了時点 準2級合格者50名以上(H27:42名)</p> <p>3年次6月 準2級合格者60名(H27:56名) 2級合格者が7名以上(H27:5名)</p> <p>②前年に比べ生徒の英語での活動時間を増やすことができた。</p> <p>③ 自己評価アンケート</p> <p>「学習した英語を用いて自らを表現できる機会を得ることができた。」</p> <p>1年次 「非常にあてはまる」+「よくあてはまる」 60%以上 (H27:65.2%)</p> <p>④⑤各種コンテストでの入賞。(H27:英語ディベート大会県3位)</p>	<p>普通科</p> <p>①準2級1年生 3名 2年生 3名 3年生 3名 計9名</p> <p>2級 1年生 0名 2年生 1名 3年生 3名 計4名</p> <p>②ALの発想も入れて授業を工夫している。</p> <p>③ 自己評価アンケート</p> <p>「学習した英語を用いて自らを表現できる機会を得ることができた。」 肯定評価は39.3%</p> <p>④⑤・岡山県英語ディベート大会第3位</p> <p>・「『世界津波の日』高校生サミット in 黒潮」で井原の防災について英語で発表</p> <p>・エッセイコンテスト4名応募</p> <p>・GTEC 希望者受験,平成29年度全員実施予定</p> <p>・同窓会からの英語検定受験並びに合格助成の実施</p>	B
教務課	<p>普通科</p> <p>○ディベートLHRを企画・実行する。</p>	<p>普通科</p> <p>○ 自己評価アンケート</p> <p>「LHR,授業などを通じてコミュニケーション力が身につけている」 評価指数7.5以上 (H27:7.5)</p>	<p>普通科</p> <p>3年6/15「原発Yes or No」9/21大学入試問題テーマによる集団討論</p> <p>2年9/21「AIの開発Yes or No」</p> <p>1年11/2実施</p> <p>○ 自己評価アンケート</p> <p>「LHR,授業などを通じてコミュニケーション力が身につけている」</p> <p>評価指数4.4</p>	B
園芸科	<p>○コミュニケーション力・プレゼンテーション力の向上するために、地域交流授業や各種行事、地域ふれあい市において、グループワークや発表会、事前指導の充実を図り、スキルアップを目指す。</p>	<p>○ 専門科生徒アンケート</p> <p>「行事や交流の際、相手と話し合いを深めたり、自分の意見を発表できたりした」「できた」生徒 80%以上</p>	<p>○ 専門科生徒アンケート</p> <p>「行事や交流の際、相手と話し合いを深めたり、自分の意見を発表できたりした」 「できた」生徒 50%</p>	B

学校自己評価・・・生徒、保護者、教職員を対象に行ったアンケート調査。平成28年12月9日までに実施。

回収率 生徒 98.2% (541人/551人、H27 99.5%)、保護者 88.7% (489人/551人、H27 92.0%)、教職員 100% (62人/62人、H27 100%)
 評価指数の計算方法 (よくあてはまる割合)×2+(ややあてはまる割合)×1+(あまりあてはまらない割合)×(-1)+(まったくあてはまらない割合)×(-2)
 ⇒ (最高) 20.0, (最低) -20.0

最終達成状況

担当(分掌)
英語科

普通科

①英検合格者数(※印は出願者数)

準2級	1年	1回まで	3名	※27名	※124名
		3回まで	※24名		
	2年	1回まで	30名	※52名	
		3回まで	※22名		
	3年	1回まで	45名	※47名	
		3回まで	※2名		
2級	1年	1回まで	0名	※4名	※29名
		3回まで	※4名		
	2年	1回まで	1名	※20名	
		3回まで	※19名		
	3年	1回まで	3名	※5名	
		3回まで	※2名		

同窓会からの資金援助を受けて、第3回(1月実施)の受験者数が増えた。(3級受験も含めて89名)

最終達成状況

②ALの発想も入れて生徒の英語の活動を増やすよう、授業を工夫し、研究中である。

③ 自己評価アンケート

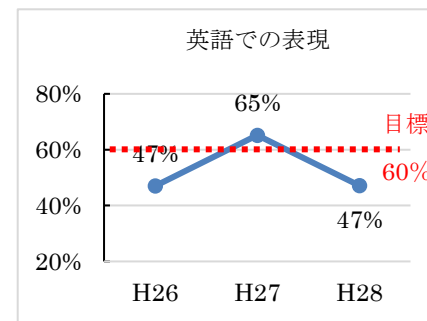
「学習した英語を用いて自らを表現できる機会を得ることができた。」

1年次 「非常にあてはまる」+「よくあてはまる」 47.1%

④⑤英語エッセイレーターコンテストの地区選考会に4名が応募し、県レベルの代表選考には残らなかったが、2年生1名が3位になった。

・『世界津波の日』高校生サミットin黒潮で井原の防災について英語で発表

・GTEC 希望者受験、平成29年度全員実施予定



B

教務課

普通科

各学年のディベート実施状況

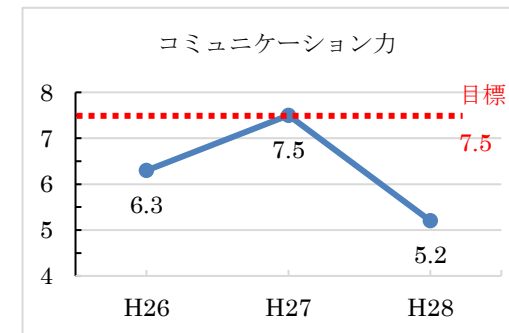
3年6/15「原発 Yes or No」9/21 大学入試問題テーマによる集団討論

2年9/21「AIの開発 Yes or No」

1年11/2「小学生にタブレットPCを配布すべきか否か」

○ 自己評価アンケート

「LHR、授業などを通じてコミュニケーション力が身につけている」 生徒評価指数 5.2



C

園芸科

○ 専門科生徒アンケート

「行事や交流の際、相手と話し合いを深めたり、自分の意見を発表できたりした」 「できた」生徒 61%

B

3 生徒会・農業クラブ・家庭クラブ活動の活性化

部活動及び生徒会委員会活動の充実

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(11月末現在)	中間評価
教務課	○図書委員会主催読書会や読書LHRを両校地で2回以上実施する。	○図書委員会主催読書会、読書LHRの実施回数 年2回以上実施した。 (H27: 2回)	○読書会(6/16)、読書LHR	B
	普通科 ○生徒が関わる図書だよりの発行回数を増やす。	普通科 ○図書だより 発行回数8回以上 (H27: 北校地7回) 自己評価アンケート 「図書室を、読書や学習のために、利用している」 H27を上回る (H27: -10.5)	普通科 ○図書だより 4回発行 自己評価アンケート 「図書室を授業や読書のために利用している」 評価指数 -12.4	B
生徒課	①生徒会・各種委員会活動を活性化させる。 [体育祭・いろは祭等を盛り上げる][挨拶運動などに積極的に参加する]	① 体育祭・いろは祭後のアンケート [積極的・参加できた] 85%以上 (H27: 83.1%)	① 体育祭・いろは祭後のアンケート 本年度の球技大会・体育祭についても、 積極的に参加している生徒も多く、昨年同様盛り上がった。	B
	②生徒会活動を生徒に知らせるため、 生徒会・委員会新聞の発行を行う。	②内容を充実し、 年間3回発行 (H27: 5回発行)	②生徒会新聞を 4回発行。	
厚生課	③競技力向上を図るため、 部活動日(毎週金曜日)を設けて部活の活性化を図る。	③④・部活動入部率を向上・維持させる。 入部率80%以上 ・目標を 県ベスト16以上 とし、それを達成した。	③④部活動日徹底はまだまだだが、 たくさんの部活動で中国大会・全国大会などに出場 できている。特に 新体操は全国大会で優勝 するなど、素晴らしい成績を残した。 部活動入部率85.3%	B
	④1学期に部長会を実施する。	①両校地において ポスターを作成し、校内掲示することができた。 (H27 北校地のみ掲示)	① 北校地においてポスターを作成した。	
園芸科	①厚生委員会では、両校地において英語表現を用いるなど工夫した清掃ポスターを作成する。	②校内の清掃状況点検を 年2回以上実施し 、清掃重点箇所の 環境整備を呼びかけた。	②中間期(10月)と年度末(1~3月)に点検、啓発活動を行う。	B
	②厚生委員会で清掃状態を確認し、重点箇所を全校生徒に伝える。	③ 保健委員会によるアンケートの実施 と、保健便り作成し、啓発活動をする。	③保健委員会によるアンケートを準備中。	
家政科	③保健委員会の活動を活性化する。			

生徒による自主的運営と指導体制の充実

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(11月末現在)	中間評価
園芸科	生徒による自主的運営と指導体制の充実	① 農業クラブ新聞をHPにアップした。	① 農業クラブ新聞をHPにアップする準備を進めている。	B
	① 農業クラブ新聞(生徒)発行	② 全国大会に向けての集会や役員会を年間5回開催した。	② 全国大会に向けての集会や役員会をこれまで3回開催した。	
家政科	家庭クラブ員全員が交代で、家政科の学習内容や家庭クラブ活動について情報発信する。	① 昇降口のケースに活動を毎月掲示し、その内容をHPにアップした。(年間9回以上)	① 5・6・7・9月は、期限を守って掲示しHPにアップした。	B
	① 昇降口のケースに、グループごとに協力して掲示物を作成する。	② 自己評価アンケート 「…家庭クラブ(家政科)の活動に積極的に参加している」 肯定的回答80%以上	② 自己評価アンケート 「…家庭クラブ(家政科)の活動に積極的に参加している」 肯定的解答72.8%	
	② 掲示した内容をHPにアップする。			

学校自己評価・・・生徒、保護者、教職員を対象に行ったアンケート調査。平成28年12月9日までに実施。
 回収率 生徒 98.2% (541人/551人、H27 99.5%)、保護者 88.7% (489人/551人、H27 92.0%)、教職員 100% (62人/62人、H27 100%)
 評価指数の計算方法 (よくあてはまる割合)×2+(ややあてはまる割合)×1+(あまりあてはまらない割合)×(-1)+(まったくあてはまらない割合)×(-2)
 ⇒ (最高) 20.0, (最低) -20.0

最終達成状況

担当(分掌)	最終達成状況	最終評価												
教務課	○読書会(6/16, 10/28), 読書会 LHR(10/19 北) 各校地で、読書会や読書LHRを実施した。	B												
	<p>▶ 普通科</p> <p>▶ ○図書館日より 北8回 南8回発行(2月以降も発行予定)</p> <p>▶ 自己評価アンケート</p> <p>「図書室を授業や読書のために利用している」 生徒評価指数 -12.4</p>	B												
生徒課	<p>▶ ① 自己評価アンケート</p> <p>「学校行事に対して、積極的に参加している。」 生徒評価指数 9.5</p> <p>▶ 体育祭・いろは祭・挨拶運動・下校指導など生徒会・委員会とも積極的に参加した。</p> <p>▶ ② 生徒会新聞を毎月発行</p> <p>▶ ③部活の日については、あまりアピールできなかったが、顧問の先生によっては積極的に部活動の指導に当たられていた。 その結果、たくさんの部活動で中国大会・全国大会などに出場した。特に新体操の全国大会での優勝、野球部の全国大会出場など、素晴らしい成績を残した。</p> <p>▶ ④4月の早い段階で部長会を開催することができ、活動の時間や試合のことなど確認もできた。部活動入部率 85.3%</p>	<p>▶ 入部率</p> <table border="1"> <caption>入部率</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>入部率</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H26</td> <td>81.5%</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>H27</td> <td>88.2%</td> <td>80%</td> </tr> <tr> <td>H28</td> <td>85.3%</td> <td>80%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	入部率	目標	H26	81.5%	80%	H27	88.2%	80%	H28	85.3%	80%
	年度	入部率	目標											
H26	81.5%	80%												
H27	88.2%	80%												
H28	85.3%	80%												
厚生課	<p>▶ ①両校地において生徒に募集、北15作品、南44作品の応募があり、最優秀賞を決定し、校内掲示をして、より積極的な清掃活動の啓発をした。</p> <p>▶ ②厚生委員による清掃状況の点検を実施、校内の清掃重点箇所を生徒に示した。</p> <p>▶ ③抜き打ちの地震避難訓練の実施を受けて、保健委員を中心として校内の危険箇所や効果的な避難経路等を確認し、保健便り等を通じて全校生徒の防災意識を高めることができた。</p>	A												
担当(分掌)	最終達成状況	最終評価												
園芸科	<p>▶ ①農業クラブ新聞をHPにアップした。</p> <p>▶ ②全国大会に向けての集会や役員会をこれまで5回開催した。</p>	A												
	<p>▶ ①5~7・9~1月は、期限を守って掲示しHPにアップした。</p> <p>▶ ②学校自己評価アンケート</p> <p>▶ 「…家庭クラブ(家政科)の活動に積極的に参加している」 「よくあてはまる」「あてはまる」が72.2%</p>	B												
家政科														

ホームページの充実等による積極的な情報発信

担当(分掌)	具体的計画	今年度の達成基準(昨年度までの状況)	中間達成状況(11月末現在)	中間評価
教務課	○HPの 更新作業が可能な教員を増やし 、校内の組織的な更新体制が構築できるよう支援する。	○情報係、WEB係の合同係会を組織し、HP更新状況に係る校内連絡調整会議を定期的 に開き、 最新の情報が見えるHPになる。 (H27:更新一部不十分) ○ 保護者自己評価アンケート 「HPが頻繁に更新されており、学校の情報が効果的に外部に発信されている」 評価指数 8.4 以上	○6/6 第1回情報係・web係会議 7/20 第2回情報係・web係会議	B
生徒課	○生徒課内にHP係を設置し、 部活動・生徒会行事のHPを充実させる。	○生徒会行事については、行事終了後 速やかにアップした。 ○各部活動(運動部・文化部)については、 固定ページの更新1回、投稿を1回以上実施した。	○生徒会 行事後などには速やかにアップした。 ○年度当初から固定ページの更新をお願いしているが、 まだ100%に至っていない。 今後もっと呼び掛けていきたい。	B
広報担当	○広報活動計画を策定し、教職員の周知をするとともに組織的・計画的に広報活動を実施する。 ○中学生等に、年間広報活動予定を配布する。	○全科、定員を充足した。	○HP発信体制の工夫。情報係や生徒課による情報発信 PTAアンケート等を実施 HP検索数13位(8月) ○中学生に広報関係の 年間行事予定を配布した。 ・生徒による出身中学校訪問説明会を11月に実施	B

学校自己評価・・・生徒、保護者、教職員を対象に行ったアンケート調査。平成28年12月9日までに実施。
 回収率 生徒 98.2% (541人/551人、H27 99.5%)、保護者 88.7% (489人/551人、H27 92.0%)、教職員 100% (62人/62人、H27 100%)
 評価指数の計算方法 (よくあてはまる割合)×2+(ややあてはまる割合)×1+(あまりあてはまらない割合)×(-1)+(まったくあてはまらない割合)×(-2)
 ⇒ (最高) **20.0**, (最低) **-20.0**

最終達成状況

担当(分掌)

教務課

- 6/6 第1回情報係・web係会議を実施
- 7/20 第2回情報係・web係会議を実施

組織的に更新体制が構築できており、タイムリーに情報がアップできている。

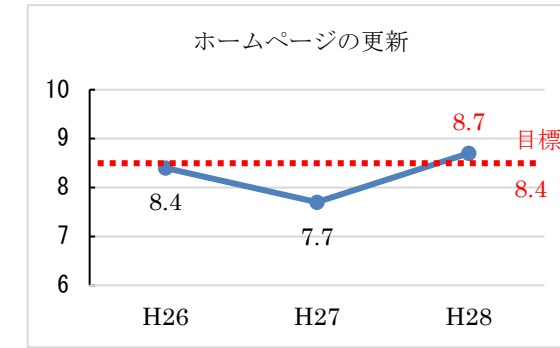
- 保護者自己評価アンケート

「HPが頻繁に更新されており、学校の情報が効果的に発信されている」保護者評価指数 8.7

HP検索件数 21位 (12月県立高校内 同規模校ではトップ)

最終達成状況

最終評価



A

生徒課

- ▶ ○生徒会行事後、速やかにアップできた。
- ▶ ○各部のHPについては、100%ではないので、これからも呼び掛けていきたい。

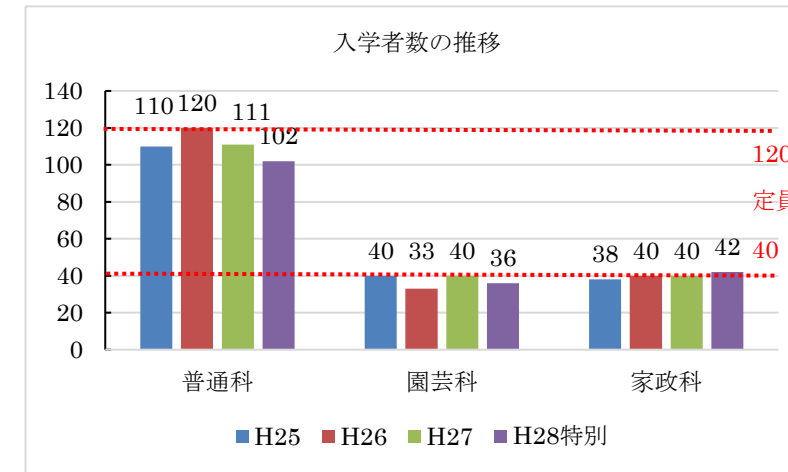
B

広報担当

○HPについて、情報係だけでなく、生徒課や各科からの発信をできるようにした。HP検索件数 21位 (12月県立高校内 同規模校ではトップ)

○生徒による中学校への訪問説明会を実施。

特別入試出願数 (普通科 102, 園芸科 36, 家政科 42)



B